

## 第150回 教育研究評議会要録

日時 平成29年5月24日（水）午後1時00分～午後2時10分  
場所 第一会議室  
出席者 今岡学長，角田理事，小路田理事，藤原理事，井深理事，成瀬副学長，三成副学長，吉村副学長，野村文学部長，林井理学部長，黒子生活環境学部長，高田人間文化研究科長，内田，中山，小林，春本，久保，松岡，棚瀬，三木各評議員  
列席者 酒居監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，太田情報管理活用監，桑原国際課長，乾研究協力課長，西田財務課長，西施設企画課長，木下学務課長，名賀入試課長，矢野学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程等の制定等について

##### (1) 福井大学を基幹校とする連合教職大学院運営専門部会要項の制定について

角田理事から，資料1により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで実施し，平成29年4月1日付けで適用することとした。

##### (2) 学章及びロゴマークの使用許可等に関する要項の制定について

小路田理事から，資料2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで実施することとした。

##### (3) 奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター女性史学賞規程の制定について

藤原理事から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行することとした。

#### 2. 奈良女子大学の各ポリシーについて

角田理事から，資料4により説明があり，審議の結果，これを承認した。

#### 3. キャンパスマスタープラン2017の策定について

井深理事から，資料5により説明があり，審議の結果，一部字句修正をすることとした上でこれを承認し，役員会へ付議することとした。なお，小路田理事から，理学系A棟前道路について，歩行者と車両の通行が混在して危険であること，マスタープランのシンボリックな位置となることから，車両の通行が必要最小限となるよう検討中であるとの説明があった。

4. その他  
特になし

## II 報告事項

1. 第194回及び第195回役員会について

学長から、4月25日に開催された第194回役員会及び4月28日に開催された第195回役員会の審議概要について、資料6により報告があった。

2. 国大協近畿地区支部会議の報告について

学長から、資料7により、4月28日に開催された国大協通常総会の審議概要等についての報告と、国立大学を取り巻く状況についての情報提供があった。

3. 平成30年度国立大学法人運営費交付金概算要求事項について

学長から、資料8により、これら以外に本学が選択した重点支援②に関係する事項の追加も検討しているとの説明があった。今後文部科学省と折衝して要求するとの報告があり、要求順位は学長に一任して決定することを確認した。

4. 平成30年度施設整備費補助金等概算要求事項について

井深理事から、資料9により、キャンパスマスタープラン2017にも記載のとおり計画しているとの説明があった。今後緊急性や文部科学省による昨年度評価もふまえて要求するとの報告があり、要求順位は学長に一任して決定することを確認した。

5. 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）等について

小路田理事から、資料10-1により本学の評価内容（原案）のうち、今回確認対象となる業務運営・財務内容等の状況の評価について「非常に優れている」1項目、「良好」3項目となる見通しであること、また別紙のとおり字句修正を申し入れたとの説明があった。続いて資料10-2により第3期年度評価ヒアリング割り振りについて説明があり、協力依頼があった。

6. 奈良女子大学大学院人間文化研究科規程の一部改正について

人間文化研究科長から、資料11により、4月27日開催の大学院人間文化研究科代議員会で承認されて改正された人間文化研究科規程について報告があった。

7. 各室等からの報告について

やまと共創郷育センター：

成瀬副学長から、県内企業で勤務するOGと学生の交流会を、7月4日（火）及び6日（木）の各日17時から18時30分で予定しているとの案内があり、改めて正式な連絡を行う予

定であるが、各教員を通じた学生への周知依頼があった。学長から、例年7月下旬の全学構内清掃後に実施している「教職員及び学生の交流会」を、今年度はこのOGと学生の交流会に集約して、より学生を巻き込んだ有効なイベントとするよう指示があった。

## 8. その他

### (1) 学歌の制定について

内田評議員から、学章及びロゴマークによるユニバーシティ アイデンティティの確立に関連して、学生の間で歌い継がれている奈良女子高等師範学校の校歌を学歌として正式に制定することについて提案があった。これまでの経緯等について種々意見交換の結果、スクールカラーの制定と併せて広報企画室で今後検討することとした。

以上